

令和2年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	日本遺産木曽路磨き上げ事業
事業主体 (連絡先)	木曽地域文化遺産活性化協議会 (木曽観光連盟) (0264-23-1122)
事業区分	6 ア 特色ある観光づくり
事業タイプ	ソフト
総事業費	2,739,000円 (うち支援金: 2,191,000円)

事業内容

日本遺産を活かした地域活性化に努めるため、日本遺産 PR 事業を開催し、更なる住民周知を図った。

①日本遺産 PR 事業の開催

開催日: 日本遺産の日 (令和3年2月13日)

開催場所: エリア内全域容内訪者への PR 事業

内容: 構成文化財有料7施設の無料公開等

②日本遺産パンフレット (改訂) 版の制作

部数: 日本語 (60,000部)、英語 (40,000部)

③日本遺産 HP (改訂) の制作

内容: 日本遺産構成文化財を中心とした修正、追加

仕様: 現在の日本遺産「木曽路」ポータルサイト内に設置。コロナ禍におけるインバウンド対策として、日本語版ページに加え英語版ページを作成



【パンフレット】

【目標・ねらい】

- ①観光商品の造成
- ②観光入込客数の増

事業効果

※地域活性化のための目標・ねらいに対してどのような効果があったか、項目毎に記載すること。

①コロナ禍による観光客の減少により商品造成についても苦慮している状況ではあるが、地域内においても日本遺産認知度の向上を図るため、ガイド養成講座等も行い、旅行業を持つエリア内観光局、観光協会と協力しアフターコロナに向けた商品造成を行うための準備を行うことができた。

②コロナ禍によるエリア外からの観光客が減少しているが、ホームページ等 SNS を活用した情報発信が可能となった。

※自己評価【C】

【理由】

コロナ禍によりイベントの規模を縮小し実施したことによる周知不足。またインバウンド減少により観光客の減少。

今後の取り組み

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。

アフターコロナに向けた日本遺産を活用しての観光客誘致に向け、商品の造成をエリア全体で行うとともに、他地域との連携も図り木曽地域の活性化を図っていく。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。

「A」: 予定を上回る効果が得られた 「B」: 予定していた効果が得られた

「C」: 一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある